

保護者 各位

富士市立東小学校
校長 若月 佳妙

令和4年度 前期学校アンケート集計結果

前期学校アンケートへのご協力、ありがとうございました。東小学校グランドデザインと照らし合わせながら、児童・保護者の皆様からいただいた結果をまとめましたので、お知らせいたします。

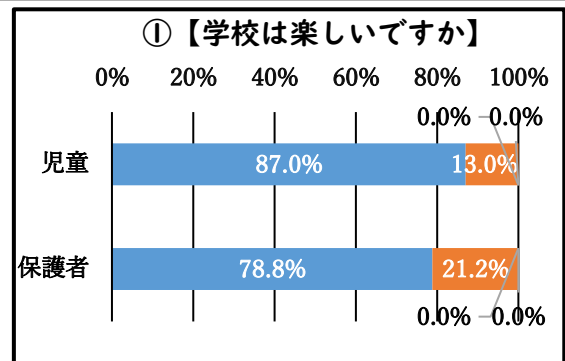
東小学校グランドデザインより

☆学校の目標 ()内はR3年度後期アンケートの「そう思う」+「どちらかという」と「そう思う」の割合
 学校が楽しい 100%(100%) 授業が楽しい 100%(95%) 挨拶・言葉遣い 94%(80%)
 人が困っているときは進んで助ける 85%(85%) 目標をもって努力する 90%(90%)
 自分には良いところがある 83%(80%) 先生は困ったときに相談にのってくれる 92%(90%)
 家で勉強や宿題をよくやっている 79%(79%) ICTを効果的に活用した授業 81%(100%)

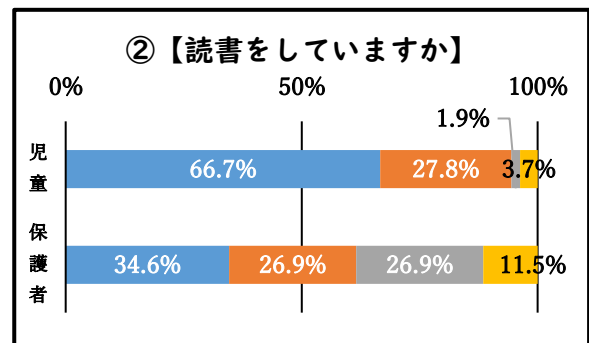
※グラフの水色は「そう思う」、オレンジは「どちらかというとそう思う」、灰色は「どちらかというとそう思わない」、黄色は「そう思わない」を表しています。

【結果と考察】

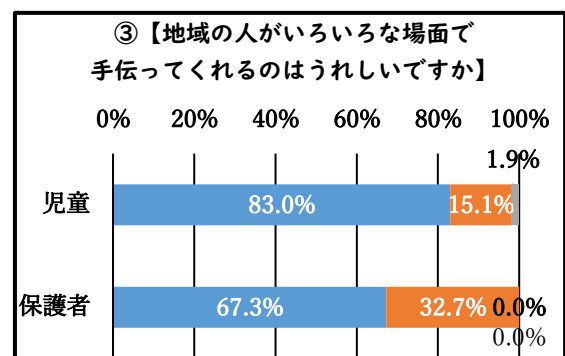
①「学校は楽しいですか。」の設問に対して、児童は100%が「そう思う」「どちらかというとそう思う」と回答しました。令和3年度後期と共に高い割合でした。本年度も、コロナ禍でいろいろと制限されていることもありますが、中でも子供たちが、学校生活に満足していることが分かりました。今後も「学校が楽しい」と思える、一人ひとりに居場所のある学校を目指していきます。また、「友達と仲良くしている。」の設問でも、「そう思う」「どちらかというとそう思う」が100%でした。友達と学校生活を楽しく過ごしていることがうかがえ、うれしく思います。



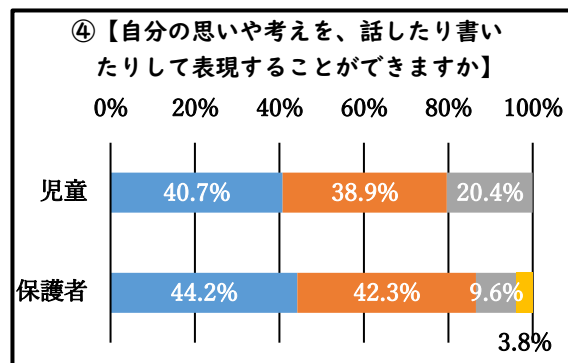
②「読書をしていますか。」の設問では、93%の児童が「そう思う」「どちらかというとそう思う」と回答しました。6年生が行った全国学力・学習状況調査でも、「読書が好き」「国語が好き」と答えた児童の割合が、全国、県の平均値より高かったです。これは、日頃の読書習慣が身に付いているからと推測されます。東小は一人当たりの月間平均貸し出し数が10冊以上と、読書好きの子供が多いです。読書習慣を身に付けることは、国語力を向上させるだけでなく、一生の財産となり、生きる力や楽しみの基となります。今後も読書月間等を利用し、読書活動の推進を図っていきます。



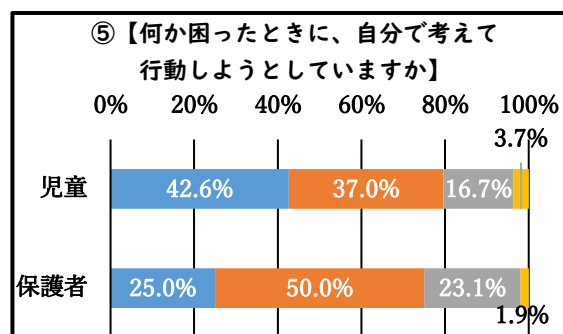
③「地域の人がいかなる場面でも手伝ってくれるのはうれしいですか。」は、今回が初めての設問でした。98.3%の児童が「うれしい」「どちらかといえばうれしい」と答えています。東小の強みとして、協力的な地域の方が多いことや異学年との仲の良さが挙げられます。校外学習や体験活動では、多くの保護者や地域の方の見守りがあり、安全な活動を行うことができました。地域の方や他学年の子供たちとの関わり合いを通して、社会性や豊かな人間性も育てられていると感じています。今後も保護者の皆様や地域の方とともに、東小の子供たちを育てていきたいと思ひます。



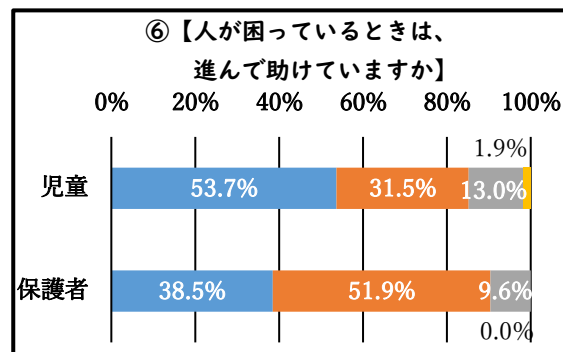
④「自分の思いや考えを、話したり書いたりして表現することができますか」の設問では、79.6%の児童が「できる、どちらかといえばできる」と答えた一方で20.4%の児童が「どちらかというとも思わない」と答えています。話したり書いたりして表現していく力については、まだ伸びしろがあります。一人ひとりの子供の思いを共感的に受け止め、安心して自分の意見を伝えられる環境をより一層整えていきます。また、感染対策をしながらペアやグループ等、様々な形態で互いの考えを伝え合う場を設定し、友達と学ぶよさを感じられるよう、より良い授業づくりに努めていきます。



⑤「何か困ったときに、自分で考えて行動しようとしていますか」という設問では、「どちらかというとも思わない」「そう思わない」と答えた児童は全体の20.4%でした。東小の校訓は「やさしく かしくたくましく」です。保護者の方も、10.4%が「自分のことは自分でできる子」と願っています。東小は、教師が一人ひとりの子供に目が行き届く良さがある反面、自分でできることにも手を差し伸べすぎている場面があるかもしれません。子供が自ら考えて行動できるよう、学校でも「待つ」姿勢を意識していきたいと思ひます。



⑥「人が困っているときは進んで助けていますか。」の設問では、「そう思う」「どちらかというとも思おう」と回答した児童は、85.2%でした。14.9%の児童は「どちらかというとも思わない」「そう思わない」と答えていることから、コロナ禍で、三密を回避し距離を取っていることもあり、どのように助けたらよいか分からない児童がいることが要因ではないかと考えます。「思いやりのある子に育てほしい」と願っている保護者の方は16.9%で、一番高い割合です。



本年度の重点目標「感じて動く」を意識できるよう、コロナ禍でもできる思いやりの言動を、発達段階に応じて子供たちと一緒に考えてみたいと思ひます。

日頃より、東小学校の活動を支援していただき、ありがとうございます。「子供を安心して任せられる学校である。」という設問では100%の保護者の皆様が「そう思う」「どちらかというとも思おう」と回答していただきました。東小学校のホームページも多くの方に見ていただいているようで、うれしく思ひます。コロナ禍で授業参観や懇談会等、感染症対策のため、児童が教室で活躍する姿をお見せする機会が少なくなり、職員一同心苦しく思ひます。学校だよりや学年だより、ホームページなどで学校での子供たちの様子をお伝えしていきたいと思ひます。

最後になりますが、保護者の皆様より、「いつもありがとうございます。これからも温かく子供たちを見守ってください。」「集団登校時の挨拶がない、小さいのがずっと気になっています。」「今年度の学校だよりの行事予定が、全学年載っていてとてもわかりやすいです。人数が少ないので他の学年の下校時間が分かって安心します。」「アンケートに名前が記入があると答えづらい気がします。」「住んでいる場所の関係、帰り道複数人で帰るようになってたのが週に1回だけ1人で帰ってきてしまうようになってます。毎日不審者情報が送られてくる中なかなか心配な事案です。」「どの先生も一人ひとりをととも良く見てくれていて、安心して学校へ送り出すことができます。ありがとうございます。」等のたくさんの建設的なご意見をいただきました。職員で共通理解を図りながら、良い点は継続し、見直すべき点は改善していけるように検討し、今後もより良い学校運営を行っていきたく思ひます。東小は、地域とともにある学校です。「自分が好き・学校が好き・地域が好き」な子供の育成のため、引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。